

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター  
令和5年度 公開水産科学実習

## 春季フィールド科学実習

### (亜寒帯の沿岸生物を対象とした水産科学実習) 実施要項

#### 1. 授業科目

特別実習 I 1 単位 (北海道大学水産学部の単位)

但し、単位は、所属する大学が認めたときにのみ修得となる。また、この単位を修得した学生が、他の実習を重複して受けた場合には、本単位を修得することはできない。

#### 2. 実施場所

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター忍路臨海実験所  
〒048-2561 北海道小樽市忍路 1 丁目 460

TEL・FAX: 0134-64-2303 Mail : oshoro@fsc.hokudai.ac.jp

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 洞爺臨湖実験所  
〒049-5723 北海道虻田郡洞爺湖町月浦 122

TEL : 0142-75-2651 FAX : 0142-75-2943

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 白尻水産実験所  
〒041-1613 北海道函館市白尻町 152

TEL : 0138-25-3237 FAX : 0138-25-5088

宿泊場所は、忍路臨海実験所、洞爺臨湖実験所、白尻水産実験所を利用する。

#### 3. 実施期間

令和 6 年 3 月 11 日 (月) ~ 令和 6 年 3 月 15 日 (金)

3 月 11 日 (月) 9:00 北海道大学総合博物館前集合

3 月 15 日 (金) 午後 JR 函館駅にて解散 (受講者の移動便の時間を考慮します)

#### 4. 対象

国立大学 (北海道大学を除く)、または公私立大学に在籍する学部 2~4 年次の者を対象とする。定員に空きがある場合は 1 年生および大学院生も受講可能とするが、単位認定はできないので留意すること。

#### 5. 実習内容

① 忍路臨海実験所において、コンブ藻場を対象とした海藻の生態調査、コン

ブなど海藻の形態観察および標本作成（指導教員：四ツ倉典滋，黒田実加）

② 臼尻水産実験所において、ダンゴウオ科魚類を対象としたシュノーケリング観察と卵発生観察

※ホテイウオの回帰状況によって、実習内容を一部変更する可能性あり  
（指導教員：宗原弘幸）

スケジュール

3月11日：北海道大学総合博物館前集合，忍路臨海実験所へ移動  
コンブ藻場調査，調査データの取りまとめ，標本作成  
（忍路臨海実験所泊）

12日：調査データの取りまとめ，形態観察，中央水産試験場見学，  
洞爺臨湖実験所へ移動，講義（洞爺臨湖実験所泊）

13日：臼尻水産実験所へ移動，調査結果の発表（臼尻水産実験所泊）

14日：シュノーケリング実習（臼尻水産実験所泊）  
または魚類の遺伝マーカーによる種判別

15日：卵発生観察，または魚類の遺伝マーカーによる種判別  
函館駅または函館空港へ移動，解散

※各施設間の移動は，すべて教員が運転するレンタカーで行います。

## 6. 定員

本実習の定員を8名とする。書類選考により採否を決定し，採否については12月27日（水）までにメールにて個別に通知する。

## 7. 提出書類その他

(ア)特別聴講学生願書

(イ)学生証のコピー

(ウ)実習の受講を希望する理由（200字以内，様式自由）

(エ)学生教育研究災害傷害保険（学研災）および学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）への加入を証明するもの（領収書・証明書等）

書類(ア)および本要項は，北海道大学北方生物圏フィールド科学センター食糧基地拠点ホームページ（教育拠点 HP）内の，本実習のページよりダウンロード可。

URL：<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/index.html>

※書類の提出が遅れる，または紛失等で再確認が必要な場合は申し出ること。

提出書類(エ)の保険では，本実習中における新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病感染時の治療および入院等の滞在にかかる費用は補償されない。

補償を受けるには（エ）の保険加入者が任意で加入できる「学研災付帯学生生活総合保険」に加入する必要がある。なお，加入は任意である。

詳細は教育拠点 HP「公開水産科学実習における感染対策」

[https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/for\\_infection.html](https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/for_infection.html) を参照のこと。

8. 申込期限：令和5年12月6日（水） 必着

9. 申込先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 事務部学術協力担当

〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西10丁目

TEL：011-706-3452

※郵送の際、封筒表に「公開水産科学実習参加申込書類在中」と朱書きすること。

必ず所属大学の教務関係担当事務を通して申し込むこと。

10. 参加費

宿泊費（4泊）と食費（11日昼食～15日昼食）合計10,000円程度。

実習地までの往復交通費や、前泊・後泊など実習期間外の宿泊費は実習生が負担する。

国立大学の学生は、所定の書式による申請により授業料は不徴収とする。公私立大学の学生が北海道大学の単位取得を希望する場合、学部間による履修に関する協定を締結することにより授業料は不徴収となる。（協定の締結は、予め北海道大学水産学部と履修希望者が所属する学部担当者との協議等が必要となる。）特別聴講学生等として受け入れる際の授業料等について、「北海道大学における特別聴講学生、及び、特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程」（平成16年海大達第267号）」に規定する要件を満たした場合は、これを徴収しない。

11. 問い合わせ先

【申込に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 事務部学術協力担当

〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目

TEL：011-706-3452

【実習内容に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター忍路臨海実験所 札幌研究室

〒060-0809 札幌市北区北9条西9丁目

TEL・FAX: 011-706-2535 Mail: oshoro@fsc.hokudai.ac.jp

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター臼尻水産実験所

〒041-1613 北海道函館市臼尻町152

TEL・FAX 0138-25-3237 または 5088 Mail: usujiri@fsc.hokudai.ac.jp

12. 参考

教育拠点 HP : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/index.html>

忍路臨海実験所 HP : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/oshoro/oshoro.html>

洞爺臨湖実験所 HP : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/toya/>

臼尻水産実験所 HP : <https://www.hokudai.ac.jp/fsc/usujiri/usujiri.html>

### 13. その他

詳細な日程，実習内容，交通案内，諸注意などに関しては，採択通知後に受講決定者にメールにて通知する。

なお、今後実習内容の変更等があった場合は、実習 HP（食料基地拠点 HP）および応募者へのメールにて周知する。実験所での宿泊受入が不可となった場合、小樽市内や函館市内などのホテル等を利用する可能性がある。その際は、宿泊費の追加負担が生じるので、了承の上応募すること。